

1998

千葉県建築文化賞

第5回表彰作品集

## 千葉県建築文化賞について



千葉県知事 沼田 武

第5回千葉県建築文化賞に、多くの皆様から御応募をいただきありがとうございました。

千葉県では、来たるべき21世紀においても引き続き県民一人ひとりの幸せを確保し、地域の自立と発展を実現していくことを目指すため、西暦2025年を目標年次とする新しい「みんなでひらく2025年のちば」を策定しました。

時代は、少子化、高齢化、地球環境問題の顕在化など、大きな転換期を迎えております。

新しい長期ビジョンは、こうした社会の変化に柔軟に対応し、これらを新たな発展のエネルギーとして積極的に取り込み、本県の発展と県民福祉の向上に結びつけていくビジョンとしております。

そして、この中で、「成熟社会におけるまちづくりや社会資本整備をどう進めていくか」など、これまでの行政分野にとらわれない29の課題を設定し、その対応の方向を明らかにいたしました。

また、現在、県が取り組んでいる「ちば新時代5か年計画」においても、「文化的魅力のある都市の形成」を重要な政策課題の一つに掲げ、まちづくりにおける地域文化の創造や「千葉県福祉のまちづくり条例」に基づく社会福祉空間づくりを積極的に推進しているところであります。

千葉県建築文化賞はこうした施策の一環として、うるおいとやすらぎに満ちた快適なまちづくりを推進することを目的に創設したもので、前回までに景観に配慮した建築物と高齢者、障害者等に配慮した建築物を表彰してまいりました。

さらに、人と環境に対して安全安心で健康快適な性能が備わった環境にやさしい建築物の整備促進は、地域環境の保全に寄与することから、今回から新たに環境に配慮した建築物の部門を創設し、これらの建築物についても表彰することにいたしました。

第5回目となる今年度は106件の御応募をいただきましたが、これらの応募建築物の中から選考委員による現地審査を含めた厳正な選考過程を経て、景観や環境への配慮がなされた優れた建築物として建築文化賞4点、景観や高齢者、障害者並びに環境への配慮がなされた優れた建築物として建築文化奨励賞5点を決定いたしました。

今後、県ではこれらの建築物が都市景観の形成や建築文化の向上の先導役となるような生活環境づくりを推進してまいりますので、県民の皆様方におかれましても、より一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、選考委員をはじめとする関係者や応募された方々、後援・協賛団体各位の御協力に感謝を申し上げます。

平成11年3月

## 選考経過・総評

選考委員長 守屋秀夫

第5回建築文化賞に対して今年も多くの方々からご推薦をいただき、応募総数は前回は上回る106件(建築数で101点)となった。

今回は、従来からあった景観に配慮した建築物、高齢者・障害者等に配慮した建築物の2部門のほか、新たに環境に配慮した建築物の部門を設けたが、代わりに一般建築と住宅の区別を廃した。その結果、環境に配慮した建築物の部にも20件と予想外の応募があり、住宅の応募も41件とこれまでにない数となった。

選考経過としては、例年のように、まず応募図書に貼付された説明書と写真によって18点の建築物を選び、これらを現地訪問して個々に詳細に調査した。その上で、現地審査の報告をもとに討議を行い、表彰者を選考した。1次審査では、応募総数の比率も勘案し、景観部門8点、障害者部門6点、環境部門6点(1点は3部門で重複)の候補を選んだが、2次審査の段階で総合的評価の見地も加味して、障害者部門には建築文化賞の該当者なしとし、その代わりに奨励賞を他部門より数多く授賞することとした。

### 景観に配慮した建築物

「景観に配慮」というとき、これまでの応募対象にはその建築物をそこから眺めるとき美しい景観をつくっている、あるいは周辺の建築物や自然景観と調和しているといったものが多かったが、今年はこれらに加えて、その建築物からそとを眺めたときの景観を大切にしているという考えのものがいくつかみられた。周辺の環境はいつまでも同じであるという保証は常にあるわけではないので、このような考え方がどの建築物にも適用できるものではないが、ひとつの「景観に対する配慮」のあり方として評価してよいであろう。入賞した「志方邸」にはこのような評価も与えられるし、選には漏れたが「フコク生命千葉ニュータウン研修センター」もこの点で優れていた。

「日本コンベンションセンター国際展示場9～11ホール」は、単独の建築物としてだけでなく、既存の展示場との関係からみてもみごとな調和をみせて

いる。「志方邸」は、住宅としてはやや高級な部類に属するが、周辺の自然を取り込んだ生活スタイルは忘れかけていた住まい方を見直す示唆にとんだものであり、金さえかければ誰でもできるという建築ではない。「法華経寺祖師堂」は歴史的重要文化財の復元修理であり、新築建築物と同列に評価することは難しいが、文化的意義を認めて奨励賞の対象に加えた。

### 高齢者・障害者等に配慮した建築物

バリアフリーの考え方は普及してきたが、床に段差をなくし、あちこちに手摺をつければよいとする安易な考え方を乗り越えたものがまだ少ないように見受けられる。例えば「ポナージュ稲毛海岸」はアンケート結果等をもとにして高齢者専用の集合住宅を計画した点は評価できるのだが、一般住宅の細部を改良しただけで、老人の生活や考え方から出発した発想になっていない点に物足りなさを感じる。

その点では、「松木邸」は部屋の仕切りを最小限にするなどの高齢者を見据えた新しい提案がみられる。「市川の家」には障害をもつ母親を家族がやさしく見守る姿勢がみられ、好感がもてた。

### 環境に配慮した建築物

この場合の「環境」が何を指すかは人によって意見のわかれるところである。自然環境とみるか、人工環境とみるか、地球環境とみるか、さまざまな考えがあってよい。ただ、最近の社会の動きからみれば、高断熱・高气密にして空調効率を高めるよりは、窓を解放して自然の空気を吸いながら快適さも保つという環境共生する方向のほうがより好ましいというべきであろう。

「鬼越の家」も「すだれの家」も、空気の流れを配慮するなど、自然の力をどこまで利用できるかを積極的に考え、しかも生活のアメニティにも気がつかっている点が評価された。「千葉県木材市場協同組合販売用建物」は、森林資源の活用の見本を自ら示しているが、木材の産地をどのように考えるか、構法が適切であったかなど、問題も残している。



# 建築文化賞

景観に配慮した建築物

## 日本コンベンションセンター 国際展示場9～11ホール

所在地：千葉市美浜区中瀬2-5

施主：千葉県

設計：(株) 横総合計画事務所

施工：清水建設(株)・(株)大林組・三井建設(株)



撮影：北嶋俊治

3

既存の幕張メッセ道路を挟んだ北側の敷地に増設された新展示場である。既存の展示場は展示面積6,750m<sup>2</sup>を単位とする8コマから成っているが、今回は9,000m<sup>2</sup>と4,500m<sup>2</sup>2コマの展示スペースという構成である。既存メッセが凸面カーブを主調としたシルエットに対し、新展示場では凹面によるシルエットとし、形態的な連続性を持たせている。大屋根は96mスパンのトラスによるサスペンション構造となっている。端部にマストを建てて中央をケーブルで吊り、応力を分散して、トラス梁の成を小さくして軽快感を出し、又、マストが海に浮かぶ舟の帆を思わせる一石二鳥の効果を出していた。エスプラナードと呼ばれる観客モルを2階として、搬出入口及び展示スペースとの交差を避けて動線も明快であった。幕張新都心の高層ビルを見通せるエスプラナードの配置も好感が持てた。旧メッセと道路を隔てているために、ジャンクションスペースとして設けられた前面広場が、いかに活躍するかは、今後の運用を見守りたい。



撮影：北嶋俊治

ステンレスを中心とした外装は曲面の利用により堅さを感じさせず、軽快で既存メッセと共に、幕張新都心の中核的施設として、その役割を担っていくであろう。

(島貫俊秀)

所在地：夷隅郡岬町中原字池田 3700-7 他

施主：志方 俊夫

設計：アーキテクトファイブ 堀越英嗣+松岡拓公雄+川村純一+城戸崎博孝

施工：(株)屋代工務店

景観に配慮した建築物

しかた  
**志方 邸**



撮影：冨田 治

4

房総半島の東端に位置する気候温暖な丘陵地に建つ住宅で、美しい風景に溶け込むように、敷地の緩やかな曲線に呼応した棟にむくりのあるシンプルな大屋根と、水平線を強調した深い軒の出が印象的である。

南面する居間は木製デッキを介して芝庭とほぼ同じレベルで繋がり、北側の食堂も同様に中庭と一体となって、家

の中を南北に空気が抜けるように配慮している。居間と食堂を仕切るルーバーは冷暖房用のラジエーターで、輻射熱暖房によって真冬でも南北の開口部を解放した状態での生活が可能となっている。

東側に設けた朝日を浴びる朝食室、西側の夕焼けを楽しみながら入浴できる浴室など、自然との共生を求める施主の希望がすべて実現して満足の様子であった。

自然を愛し、趣味を楽しみながら晩年を過ごすため



撮影：冨田 治

の適地を自ら探し求め、理想の住まいを追求する施主の情熱と、それに共感した設計者の感性、創造力とが見事に結晶した秀作である。特に、構造、設備、意匠面が有機的に関連づけられて、“ゆるやかに共生した”人と自然に優しい居住空間をつくりあげている。

3,000㎡を越す敷地面積に建つ住宅が果して文化賞の対象になり得るかとの議論もあったが、建築の質の高さと景観形成への取組が高く評価されたものである。

(明智克夫)

環境に配慮した建築物  
**鬼越の家**

所在地：市川市鬼越1-28-6

施主：中川 政己

設計：加藤武志建築設計室

施工：(株)中川工務店



撮影：秋山 実

場所をていねいに読み取り、住み手とコミュニケーションを何度も繰り返す。そのうえで「住まい」と呼べる物理的環境を、状況の変化に応答しながら熟成できる空間として、その背景とともに構築すること。住宅建築における「環境」のテーマは、単に省エネルギーや省資源に止まらず、まさにそうしたごく基本的な、しかしどこかに忘れ去られてしまった設計所作の深化と呼応している。そのような所作を予感させるように、この作品は周辺の落ちついた街並みに溶け込んでいる。網戸もたてずに開放的な暮らしを長年続けてこられた施主の生活様式を出発点にして、外に対して「開く工夫」と「閉じる工夫」が無理なく組み合わせられ、美しく建築化されている。開閉する仕掛け、建具の収まり、空間の連続性、空気の流れ、自然光の制御、素材・色彩の選択、そのどれをとっても不必要な緊張を強いることがない。家全体が住み手の営みを介した「やさしい」空気と光と音で満たされている。同居す

るネコと住み手の誇らしくも穏やかな表情が、建築家の手腕と人柄を十二分に証明しているのがであった。こうした、一見あたりまえに見えながら、入念に計画・設計された一つ一つの住宅の積み重ねが地域の建築文化に貢献する。そう思わずにはいられない出来映え、暮らし振りである。

(岩村和夫)



撮影：秋山 実

所在地：浦安市入船4-37-1

施主：中野 恒明

設計：中野恒明+アプル総合計画事務所

施工：(株)岡本工務店

環境に配慮した建築物  
**すだれの家**



撮影：(株)アプル総合計画事務所

地球環境にかかわる問題が、日常の会話の中でも取りざたされる時代になってきた事を感じるこのごろである。受賞作品となった、すだれの家は千葉県浦安市に広がる典型的な埋め立て地の一角に位置し、全てが人工的につくられた住宅街ではあるものの、時間の流れと樹木の成長が落ち着いた表情の家並みを形成している。ちょうど、海風を受けるべく設置された風力発電のプロペラの回転が、改めて海の街であることを確認させてくれる。すだれの家は周辺地域の自然に精通された方の自邸とあって、光・雨水・風といった地域の自然を最大限に活用した快適な住まいを実現している。家全体に仕掛けられたさまざまな環境制御と自然エネルギーの取り入れかたは、身近な自然エネルギーの大切さを感じると同時に、省エネルギーへの関心を喚起する。

雨水貯留システム・太陽光発電・太陽熱温水・風力発電・高断熱高气密型設計といった設備を備えると同



撮影：(株)アプル総合計画事務所

時に、日本の伝統的な環境制御装置であるすだれを併用し、より安価で質の高い住環境を実現している。ちょうど街区の色で見通しのよい位置に建つ事を十分意識し、樹木や壁面の緑化で街に対しても潤いを与えている。

(工藤和美)

# 建築文化奨励賞

景観に配慮した建築物

## 法華経寺 祖師堂

久方ぶりに訪ねた法華経寺は、日蓮宗五大本山のひとつ、創立七百余年を誇る関東屈指の名刹。京成中山駅より歩いて5分、黒門と赤門をくぐり、ゆるやかな上り坂の参道の先に五重塔が見えると、やがて2万坪の敷地に広がる懐かしい境内の風景を前にする。

めざす祖師堂は光悦の筆による表額を掲げてその左手に建つ。宗祖日蓮上人と六人の祖師を祀るこのお堂は、法華経寺のシンボルであると同時に県下最大の木造建築である。

江戸中期1678年に再建した現在の建物は、幾度かの修理と改築を重ねて今日に至り、昭和60年には重要文化財の指定を受けた。この度完成した解体修復は、10年を要した大工事で、全国でも珍しい比翼入母屋造り柿葺きによる建立時の原形を復元して、学術的にも高い評価を受けた。

夕陽を受けて雄大な綫線を浮かべる大屋根の面積は約480坪、境内を走りまわって遊ぶ子供たちの視野に、こののびやかな空気が育む原風景こそ未来への遺産だ。

所在地：市川市中山2-10-1

施主：(宗)法華経寺

設計：(財)文化財建造物保存技術協会

施工：清水建設(株)

かつて松林に囲まれていたであろうこの地も、今では密集した住宅が隣接して、残念ながら遠景を妨げた。しかし解放された法華経寺の存在は、市民の憩いの空間である意義も大きく、大衆仏道を唱えた日蓮の遺志が、時を超え宗旨を超えて祖師堂復元を果たしたと言えよう。

(野口瑠璃)



撮影：松本十徳

所在地：千葉市中央区轟5-1-9 シーアイマンション西千葉512号

施主：松木 陽子

設計：壱岐坂アーキテクト 古暮 和歌子

施工：(株)スタジオエース

高齢者・障害者等に配慮した建築物

## 松木邸

松木邸は、共働きの若い夫婦とまだ幼い二人の子供が安全かつ快適に居住するために、築20年のマンションを改築したものである。この家の主婦は、幼少期にこのマンションに住まい、その後転居したが、再びこのマンションに戻ってきた。その際に、自身の両親も同じマンションの別の住戸に転居しスーパの冷めない近居を実現している。

改築にあたっては、あらゆる世代が住めることが目指された。ここでは、まず若い孫たちが住み、その後には、祖父母が住み替わってくることが想定されている。したがって、設計上の配慮は、基本的な段差の解消、浴室・便所のスペースの確保などの点には十分留意しつつも、狭さを感じさせないオープンなプランニング、将来の可能性、明るい色彩計画などに力点がおかれている。また、100㎡という広さがこうした改築を可能にしている。

いわゆる高齢者、障害者対応という堅いバリアフリーの考え方ではなく、老若どのような世代も住めるようにという、今、話題のユニバーサルデザインへと設計概念が拡張されている。若干、未消化な点がないではないが、若い建築家の意欲的な取り組みに今後も期待したい。

(園田 真理子)



撮影：壱岐坂アーキテクト



所在地：市川市須和田1-32-20

施主：園田 潔

設計：園田 潔

施工：(株)中野工務店

高齢者・障害者等に配慮した建築物

## 市川の家

病気の母親と長男家族のために建てられた建築家自邸である。

“集い”をテーマにしたプランは中坪を中心に構成され、南面に母の部屋とリビングルームが並ぶ。日当たりのよい母の部屋は、二重張りの遮音壁でリビングと隔られているが、中坪に通じるガラス扉が両者を間接的に結びつけている。すのこ敷きの中坪は植木鉢が置かれ、家族不在時の母親の屋外生活スペースにもなる。その他、手すりの高さの棚、玄関脇の腰かけ板など、適度の自立を保ちながら高齢者とともに暮らす、きめ細かな配慮が随所に見受けられる。

吹き抜けのリビングルームは明るく、大きなテーブルが家族や友人の集いを演出している。角地の立地条件に配慮した外観も好感が持てる。

なお、同家では昨年末に母君が急逝されたとのことである。心痛むと同時に、高齢者に配慮した住宅が抱



えるもう一つの課題に直面する思いであった。

(北原理雄)

所在地：木更津市下郡字向高尾2270-1

施主：社会福祉法人みづき会

設計：一級建築士事務所 宇野哲生アトリエ

施工：ジェイ・ディ・エンジニアリング(株)

高齢者・障害者等に配慮した建築物

## 知的障害者更正施設 上総ゆうゆうの郷 身体障害者療護施設 上総あいらいの郷 木更津市デイサービスセンター あおばの里



標題の3施設が3階、2階、1階に配されている複合施設であるが、建築上の差はない、敷地面積7,848㎡、

総床面積5,549㎡であるが、建物が敷地一杯に広がっており、実際以上の量感を感じさせる。それは浴室、集合室、寮母室、作業指導室といった共有部分を中庭等を間に挟みながら長方形にまとめ、その両サイドに長い廊下を設けそれに接して10人分の居室とダイニングをひとまとまりとする殆ど正方形の建物が3棟ずつ45°斜めにふって配置されてあるからである。建物を上から見ると6本の足がある昆虫のようである。

共有部分と居室部分を明確に分離して居室部分の独立性と小グループでの生活を確保できるようにしている設計のコンセプトは明確であり、高く評価できる。

さらに内装の木材の多用や防災関係、浴室の設備等、障害者への配慮が感じられた。小グループでの生活ができる小舎制の考えが、施設利用者の生活に十分生かされていくよう期待したい。

(川上昌子)



環境に配慮した建築物

## 千葉県木材市場協同組合 販売用建物

東金市山田の山武杉に覆われた丘陵に整備された36,000㎡余の恵まれた敷地に建つ、2,952㎡の木材販売用建物である。これは林産物流通整備事業としての施設で、国内最大級規模の純木造平屋建ての建築物である。なお同敷地には666㎡の事務所棟、2,470㎡の調整池、イベント広場もある。

柱と梁は積層材で鉄筋を中に配した米松LVL材を使用し二方向ラーメン構造として、筋違い等の構造補助材が無く、すっきりとした大空間となっている。軒の深い切妻の大屋根に、木の葉形をした越屋根によるスリットを設け、更にもう一つ切妻のトップライトを配した手法は、作業上の採光・通風・換気には非常に有効であり、省エネ対策にも役立つと思われる。

補助構造材及び軒裏野地・外壁は県産杉材、内部天井・壁は高知県産杉板を使用し、各素材の肌を生かした健康上安全な木材保護塗料が施された建築物は、周囲の山林によくマッチしたたたずまいを感じさせる。

ただ惜しむらくは、事務所棟・付属作業小屋も一貫した配慮がなされていないと思われた。

(相原敏郎)

所在地：東金市山田字中台790番地他

施主：千葉県木材市場協同組合

設計：NOVA建築企画設計  
安達文宏建築設計事務所

施工：(株)内野屋工務店・吉岡建設(株)・古谷建設(株)

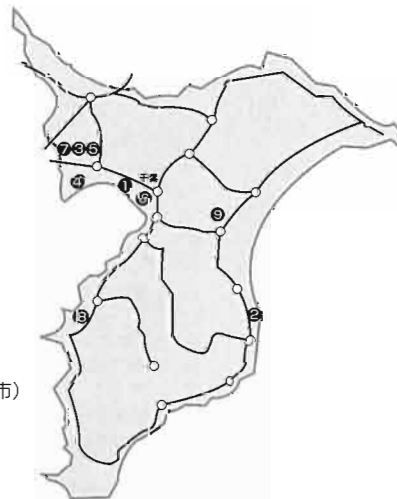


撮影：栗本写真事務所

## 応募(推薦)建築物一覧

### 表彰作品

- ① 日本コンベンションセンター国際展示場 9~11ホール(千葉市)
- ② 志方邸(岬町)
- ③ 鬼越の家(市川市)
- ④ すだれの家(浦安市)
- ⑤ 法華経寺 祖師堂(市川市)
- ⑥ 松木邸(千葉市)
- ⑦ 市川の家(市川市)
- ⑧ 知的障害者更正施設 上総ゆうゆうの郷  
身体障害者療護施設 上総あいらいの郷  
木更津市デイサービスセンター あおばの里(木更津市)
- ⑨ 千葉県木材市場協同組合販売用建物(東金市)



### 現地調査の対象となった建築物(表彰建築物を除く)

- 特別養護老人ホーム 八千代城(八千代市)
- 小倉義人邸(成田市)
- フコク生命千葉ニュータウン研修センター(印西市)
- 鴨川オーシャンパーク(鴨川市)
- 伊能忠敬記念館(佐原市)
- 箱の家-17[山田邸](柏市)
- ボナーージュ稲毛海岸(千葉市)
- 佐倉市西部保健福祉センター(佐倉市)
- 我孫子の住宅(我孫子市)

## 選考基準

- 千葉県内において、平成5年4月1日から平成10年3月31日までに完成（増築、改築、リフォームを含む）し、現在良好に管理され、また、使用されている建築物で、この表彰の趣旨に適合しているもの。
- 優れた建築物であり、次のいずれかに該当するもの。
  - ① 地域の特性や周辺の環境に十分な配慮がなされ、建築物と外部空間が一体となって魅力ある景観を創出し、地域の景観に寄与しているもの。
  - ② 安全性、快適性、利便性に優れ、高齢者や障害者等がいきいきと豊かな生活が送れるように十分な配慮がなされ、社会活動への参加が容易にできるような環境整備がなされているもの。
  - ③ エネルギーの省力化や資源の高度な有効利用を図ったり、地域生態環境と親和させるために、自然を取り入れた建築の工夫がなされ、人と環境に対して、安全安心で健康快適な室内環境の性能について、配慮がなされているもの。
- 建築基準法等の各法令に適合しており、近隣との紛争が生じていないもの。

## 選考委員

委員長 守屋秀夫：昭和音楽大学教授・千葉大学名誉教授  
 副委員長 北原理雄：千葉大学工学部教授  
 委員 相原敏郎：(社)千葉県建築士事務所協会会長  
 委員 明智克夫：千葉県建築設計監理協会会長  
 委員 岩村和夫：武蔵工業大学環境情報学部教授  
 委員 海老根寧：(福)千葉県身体障害者福祉協会理事長  
 委員 川上昌子：淑徳大学社会学部教授  
 委員 工藤和美：建築家

委員 島貫俊秀：(社)日本建築家協会・千葉代表  
 委員 周郷紀男：(社)千葉県建築士会会長  
 委員 園田真理子：明治大学理工学部専任講師  
 委員 高梨嘉己：(福)千葉県社会福祉協議会常務理事  
 委員 辻宜志：(社)千葉県建設業協会専務理事  
 委員 野口瑠璃：環境デザイナー  
 委員 荒孝一：千葉県社会部長  
 委員 伊能楯雄：千葉県都市部長

※ 敬称略・委員は五十音順



## その他の応募(推薦)建築物

千葉市中央いきいきプラザ(千葉市)  
 ケアハウス佐倉清明苑(佐倉市)  
 嘉納邸(佐倉市)  
 長寿の家(成田市)  
 鈴木宅(母屋)(佐原市)  
 千葉県生涯大学校南房学園(館山市)  
 中央学院大学館山セミナーハウス(館山市)  
 千葉県立東部図書館(旭市)  
 館山の住宅(館山市)  
 パティオのある家(市川市)  
 ケアハウスユリダイ(市川市)  
 野村邸(成田市)  
 成田市水道部(成田市)  
 千葉県立養護学校流山高等学園(流山市)  
 セントアンナナーシングホーム(成田市)  
 君津市立亀山中学校(君津市)  
 千葉県立水郷小見川少年自然の家(小見川町)  
 ウッドパーク初石駅前(流山市)  
 東京田辺製薬かずさ研究所(木更津市)  
 中村古蹟記念病院老人保険施設うらら(千葉市)  
 季美の森 ユニバーサルデザイン住宅(大網白里町)

光風荘(茂原市)  
 なつえさんのいえ(富津市)  
 「真砂の家」(北島邸)(千葉市)  
 千葉市立大椎中学校(千葉市)  
 「松波の家」(星野邸)(千葉市)  
 千葉市立瑞穂小学校(千葉市)  
 東金市立北中学校(東金市)  
 大森の家(千葉市)  
 千葉県循環器病センター(市原市)  
 T O S K Y (ツウースカイ)(松戸市)  
 加藤邸(一宮町)  
 寺門邸(一宮)  
 さくら斎場(佐倉市)  
 サザンプラザ(印西市)  
 旭市総合体育館(旭市)  
 中央学院大学30周年記念館(我孫子市)  
 千葉工業大学津田沼校舎6号館(講義棟)(習志野市)  
 平山宅(孫に伝える農家住宅)(多古町)  
 睦沢町役場庁舎(睦沢町)  
 松戸市保健健康センター(松戸市)  
 千葉県立東金高等技術専門学校(東金市)

千葉県土地開発公社社屋(千葉市)  
 ライトコート春日(千葉市)  
 勝浦市立郁文小学校(勝浦市)  
 グリーントワーザ・割烹みどり(千葉市)  
 特別養護老人ホームリブ丸山(丸山町)  
 ニッケコルトンテニスガーデン(市川市)  
 小島邸(芝山町)  
 千葉県いすみ環境と文化の里(イチョーセンター)(夷隅町)  
 国際国古病院併設老人保健施設シムルハビネス(夷隅町)  
 白子町アクア健康センター(白子町)  
 ユーカリが丘の家(佐倉市)  
 プラザ菜の花(新千葉県職員会館)(千葉市)  
 市川市保健医療福祉センター(市川市)  
 千葉市立扇田小学校(千葉市)  
 山本邸：他人のいる家(市川市)  
 聖メリー学園 小ばと幼稚園(千葉市)  
 A邸(市川市)  
 墨いろの住宅(市川市)  
 グリーンハイツ八千代(八千代市)  
 新井クリニック(八千代市)  
 古谷式典船橋斎苑(船橋市)

スチューデントハウス市川真間(市川市)  
 板橋和彦邸(銚子市)  
 篠田伸男邸(栄町)  
 東船橋の家(船橋市)  
 木更津の仮設現場事務所(木更津市)  
 展望談話室のある家(市川市)  
 君津信用組合大佐和支店(富津市)  
 小川第6ビル(千葉市)  
 D・B・O・X(千葉市)  
 渋谷茂治邸(船橋市)  
 中川邸(和田町)  
 中村富弘邸(大網白里町)  
 平川衛司邸(大網白里町)  
 角地の家(千葉市)  
 野田邸(茂原市)  
 東京湾アクアライン「海ほたる」(木更津市)  
 佐藤邸(成田市)  
 (いすみ環境と文化の里)ホテルの里(大原町)  
 加曾利の家(千葉市)



デザイン：株式会社GKデザイン機構  
制作：鑄心ノ工房

## 共催・後援・協賛団体一覧

共催 (社)千葉県建築士会

後援 (社)千葉県建築士事務所協会  
千葉県建築設計監理協会

(社)千葉県建設業協会  
(福)千葉県社会福祉協議会

(社)日本建築家協会・千葉  
(福)千葉県身体障害者福祉協会

協賛 千葉県住宅供給公社  
(財)千葉県地域整備協会  
大多喜ガス(株)  
千葉県昇降機等検査協議会

(財)千葉県都市公社  
千葉県土地開発公社  
千葉ガス(株)

(財)千葉県都市整備協会  
住宅・都市整備公団千葉地域支社  
京葉ガス(株)

第5回千葉県建築文化賞にご応募いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

応募総数106件の中から建築文化賞4点、建築文化奨励賞5点を表彰させていただきましたが、この他にも優れた建築物は数多くありました。建築文化賞はこれからも続けてまいりますので次回への御応募を期待しております。

最後に千葉県建築文化賞に後援・協賛をいただきました団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

### お問い合わせ先

千葉県都市部建築指導課  
〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1  
TEL.043-223-3186

(社)千葉県建築士会  
〒260-0854 千葉市中央区長洲2-12-25  
TEL.043-222-0109

千葉県